

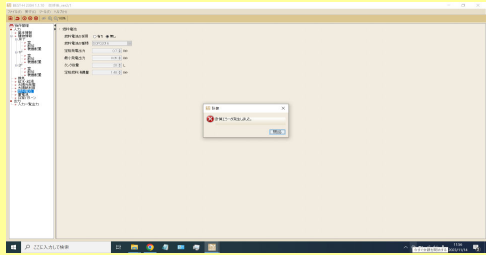
No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答												
1	二	2023/4/19	<p>下記質疑内容となります。添付資料と合わせてご確認ください。 【BEST-Hの窓の仕様入力に関して】 1. サッシの比率を入力した場合の窓の熱貫流率は面積比率に応じたU_gとU_fに基づきU_wが設定されるのでしょうか。 2. U_w同様にその他の性能値も同様に変化しているものと思われませんが、その部分について説明している技術的解説資料をいただけませんかでしょうか。 3. サッシの物性ごとの計算特性などを教えてください。 4. カーテン等ありの場合の性能値の変化に関する技術的解説資料をいただけませんかでしょうか。 5. 性能値に関しては、標準値ではガラス単体でもカーテンがある場合の性能値がカッコ書きで表記されていますが、直接入力の場合、カッコ書きで直接入力が出来ません。その場合、サッシ比率0%とした場合は、カーテンの性能を加味して計算が出来ないということでしょうか。</p> <p>宜しくお願い致します。</p>	2023/4/24	<p>ご質問に、番号を振らせていただきました。 1. ご推察の通りです。面積比率に応じてガラス+サッシの熱貫流率を設定しています。 2. サッシがある場合の熱貫流率、日射熱取得率、日射・可視光透過率につきましては、下記の式にて計算しております。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・熱貫流率 U [W/m²K]</p> $U = (1 - X) \times U_g + X \times U_s$ <p>・日射熱取得率 η [%]</p> $\eta = (1 - X) \times \eta_g + X \times \eta_s$ <p>・日射・可視光透過率 τ [%]</p> $\tau = (1 - X) \times \tau_g$ </div> <p style="font-size: small;"> U_s [%]: サッシの熱貫流率 U_g [%]: ガラスの熱貫流率 η_s [%]: サッシの日射熱取得率 η_g [%]: ガラスの日射熱取得率 τ_g [%]: ガラスの日射・可視光透過率 X [%]: 窓面積に対するサッシの比率 <small>尚、サッシ面積率には、窓とサッシの合計面積に対するサッシの面積 X (%) である。</small> </p> <p>3. サッシは、下記の性能値で計算しております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>サッシの材質</th> <th>熱貫流率[W/m²K]</th> <th>日射熱取得率[%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂</td> <td>2.2</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>アルミ樹脂複合</td> <td>4.7</td> <td>0.064</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム</td> <td>6.6</td> <td>0.092</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. カーテン等を使用した時の性能値の計算方法は、平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅(監修 国土交通省国土技術政策総合研究所, 独立行政法人建築研究所, 編集 平成25年省エネルギー基準解説書編集委員会)に記載されている方法です。 5. 直接入力を行う場合は、ガラスの欄にガラスの性能値を入力します。開閉するカーテンを含む性能値はプログラム側で計算しますので、サッシ比率が0の場合でも開閉するカーテンの性能値を含む計算が可能です。尚、常時閉のカーテン等がある場合は、ガラスの欄に、常時閉のカーテン等を含む性能値を入力する必要があります。</p>	サッシの材質	熱貫流率[W/m ² K]	日射熱取得率[%]	樹脂	2.2	0.020	アルミ樹脂複合	4.7	0.064	アルミニウム	6.6	0.092
サッシの材質	熱貫流率[W/m ² K]	日射熱取得率[%]															
樹脂	2.2	0.020															
アルミ樹脂複合	4.7	0.064															
アルミニウム	6.6	0.092															
2	二	2023/4/24	<p>★23/4/19お問い合わせのつづき 5の質問・回答に関してですが、直接入力でもカーテンの影響を加味した計算が可能とのことですが、カーテンを加味した場合の、各性能値の確認はどのように行えますでしょうか。</p>	2023/4/27	<p>直接入力にてガラスの性能値を入力した場合の、開閉するカーテン等の影響を加味した性能値は、ガラス+サッシの欄の()内の値でご確認頂けます。 尚、サッシの影響を無視したい場合は、サッシの面積率を0%とすることで確認が可能です。</p>												
3	1.1.10	2023/4/20	<p>《ご使用環境》 ご使用のOS =Windows ご使用のOSバージョン =11 BESTの種類 =BEST-H BESTのバージョン =BEST-H 2304.1.1.10</p> <p>=====</p> <p>BEST-Hについて、以下の事項をお伺いさせて頂きたいです。 BEST-Hのシミュレーションについて、シミュレーション結果より住宅全体としてのQ値やUA値を知ることは可能なのでしょうか？</p> <p>現在、シミュレーションを通してQ値やUA値を計算することで住宅性能の評価が出来ないかと考えているという背景があり、上記をご質問させて頂いております。</p> <p>お忙しいところ大変恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。</p>	2023/4/24	<p>シミュレーション結果から住宅全体としてのQ値やUA値を取得することは出来ません。 入力一覧出力の機能にて、BEST-Hで使用している部材の面積や床面積の表出力が可能ですので、そちらで別途ご計算頂く方法になるかと思えます。 入力一覧出力を行う方法は、下記URLの「BEST-Hマニュアル2021年11月」のp74「4.1 入力一覧」に記載がございます。 https://www.ibec.or.jp/best/tec_info.html#best-h</p>												
4	二	2023/5/16	<p>去年に引き続きBEST-Hを使用するためユーザー登録をしたのですが、去年まで使用していたモデルが残っていませんでした。去年度まで使用していたBEST-Hのモデルを復元することは可能でしょうか。</p>	2023/5/16	<p>データが残っていませんでした。というのは、どういう状況か具体的に教えて頂けますでしょうか。 物件データは、下記URLのp12 ~「1.3.2 エクスポート(物件データの出力)～」に記載があるように、エクスポートとインポートを行うことで他のセットアップで利用が出来るようになります、他の方法は御座いません。 https://www.ibec.or.jp/best/files/tec_info/best-h_manual.211126.pdf</p>												

BEST-Hお問い合わせリスト(23/4/1~24/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
5	二	2023/5/18	<p>「BEST Hの換気設備系統について」 換気設備の設計では完全に分けて計算ですか。 例えば、全熱交換器と排気ファンを1系統できますか。 いわゆる、混在設計できますか。 (全熱交換器が吸気量>排気量、全熱交換器の一部吸気は排気ファンによって排気することができますか) ※マニュアルは系統を分ける必要と書いています。</p> <p>資料を添付いたします。</p>	2023/5/19	<p>こちらは、BEST-Hに関するご質問で宜しいでしょうか。 全熱交換器と排気ファンは、入力欄の「スケジュール」に同じスケジュールを設定することで、1系統として同時に動かすことが可能です。 (全熱交換器の給気量の方が排気量よりも大きい場合、一部の給気を排気ファンによって排気するような計算も可能です。) 尚、換気ルートに関しては、別途「換気」の入力画面にて設定する必要があります。</p> <p>ご使用中のプログラムに関するご質問は、下記のフォーマットに内容記載の上、メール送付ください。 ○ご使用中のプログラムに関するお問い合わせ >></p> <p>-----</p> <p>《基本情報》 お名前 = お名前(フリガナ) = メールアドレス =</p> <p>《勤務先情報》 ユーザー登録種別 = 会社名 = 会社名(フリガナ) =</p> <p>《ご使用環境》 ご使用のOS = ご使用のOSバージョン = BESTの種類 = BESTのバージョン =</p> <p>-----</p>
6	二	2023/5/24	<p>BEST-Hを使用するにあたり、気象データシステム様より、標準年EA気象データを購入しようと考えているのですが、最新の2020年版のデータは取り込むことは可能でしょうか。 また、同じく2020年版の気象データは、BEST-Pでも使用することができますでしょうか。</p>	2023/5/26	<p>BEST-Hでは、最新の2020年標準年気象データをご利用頂けません。 今後のバージョンアップにて順次対応していく予定ですが、期日につきましては未定です。 尚、BEST専門版であれば、データを取り込むことが可能です。</p>
7	二	2023/6/26	<p>この度は標記の件でご連絡いたしました。</p> <p>BEST 講義用でアカウントを利用している学部生からBEST-Hを起動できないといった連絡を受けました。</p> <p>最初数回は無事起動できたようでしたが、突然起動できなくなりましたようです。</p> <p>再度インストールし直してもうまくいかず、原因を追究していましたら、添付しております写真のようにマックアドレスが検出できないといったエラーが見つかりました。</p> <p>このような場合、どのように対応すればよろしいでしょうか。 お忙しいところ恐れ入りますが、お時間ある際にご対応のほど、よろしくお願いいたします。</p>	2023/6/27	<p>MACアドレスが検出できない状態では起動はできないため、MACアドレスが検出できるPCで再度申請してください。</p>

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答																																																																																					
8	二	2023/6/29	<p>現在使用している令和5年度版BEST-Hにおいて、付加断熱の入力方法が分かりかねます。</p> <p>現在の建築研究所が出している技術情報では付加断熱の計算は、下記のような計算になると思いますが、</p> <table border="1" data-bbox="541 587 1045 1015"> <caption>部位U値計算シート <部位> の熱貫流率</caption> <thead> <tr> <th colspan="5">面積比率法(簡略計算方法)による部位熱貫流率</th> </tr> <tr> <th colspan="5">(外壁) の実質熱貫流率 W/ (m²K)</th> </tr> <tr> <th>仕様番号</th> <th>部 分 名</th> <th>一般部</th> <th colspan="2">熱橋部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁①</td> <td>熱橋面積比</td> <td>0.83</td> <td colspan="2">0.17</td> </tr> <tr> <td>(充填) +付加断熱: 横下地</td> <td>熱伝導率λ W/(m・K)</td> <td>厚さd m</td> <td colspan="2">d/λ m²・K/W</td> </tr> <tr> <td>熱伝達抵抗 Ri</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード ※ (他の空層と連続している空層)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>木材(柱・間柱)</td> <td>0.120</td> <td>0.083</td> <td>—</td> <td>0.692</td> </tr> <tr> <td>??フォームNEO (HFO発泡)</td> <td>0.021</td> <td>0.083</td> <td>3.952</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>透湿防水シート</td> <td>0.000</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>付加断熱</td> <td colspan="4">下地材などが断熱材を貫通する 0.9</td> </tr> <tr> <td>ネオマフォーム</td> <td>0.020</td> <td>0.060</td> <td>2.700</td> <td>2.700</td> </tr> <tr> <td>通気層/外装材</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>熱伝達抵抗 Ro</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>熱貫流抵抗 ΣR=Σ(d_i/λ_i)</td> <td colspan="2">—</td> <td>6.872</td> <td>3.612</td> </tr> <tr> <td>熱貫流率 U_n=1/ΣR</td> <td colspan="2">—</td> <td>0.146</td> <td>0.277</td> </tr> <tr> <td>平均熱貫流率 U_i=Σ(a_i n_i・U_n)</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">0.168</td> </tr> </tbody> </table> <p>BEST-Hではどのような入力をしたら付加断熱の計算ができますでしょうか？ 「壁の部材構成の入力」と「熱橋(熱橋部分面積比率と熱貫流率)」の設定数値の関係をどうしたら宜しいでしょうか？ 具体的にご教示お願い致します。 何卒宜しくお願い致します。</p> <p>《ご使用環境》 ご使用のOS =Windows 10 Pro ご使用のOSバージョン =1803 BESTの種類 =BEST-H BESTのバージョン =令和5年度版</p>	面積比率法(簡略計算方法)による部位熱貫流率					(外壁) の実質熱貫流率 W/ (m ² K)					仕様番号	部 分 名	一般部	熱橋部		壁①	熱橋面積比	0.83	0.17		(充填) +付加断熱: 横下地	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ m ² ・K/W		熱伝達抵抗 Ri	—	—	0.11	0.11	せっこうボード ※ (他の空層と連続している空層)	—	—	—	—	木材(柱・間柱)	0.120	0.083	—	0.692	??フォームNEO (HFO発泡)	0.021	0.083	3.952	—	透湿防水シート	0.000	—	—	—	付加断熱	下地材などが断熱材を貫通する 0.9				ネオマフォーム	0.020	0.060	2.700	2.700	通気層/外装材	—	—	—	—	熱伝達抵抗 Ro	—	—	0.11	0.11	熱貫流抵抗 ΣR=Σ(d_i/λ_i)	—		6.872	3.612	熱貫流率 U_n=1/ΣR	—		0.146	0.277	平均熱貫流率 U_i=Σ(a_i n_i・U_n)	—		0.168		2023/6/29	<p>デフォルトで用意されている断熱材を使用する場合は、壁の部材構成の入力にて一般部の部材構成(付加断熱を含む)だけを入力します。次に、熱橋部分面積比率に17%を入力し、熱貫流率には、0.277(W/(m²・K))を入力します。</p> <p>もし、ネオマフォームやアクアフォームNEOを新規の材料として登録している場合は、上記の熱橋の入力方法は無効となります。画面表示される熱貫流率が、0.168(W/(m²・K))になるよう、ネオマフォームとアクアフォームNEOの厚みを調整して下さい。</p>
面積比率法(簡略計算方法)による部位熱貫流率																																																																																										
(外壁) の実質熱貫流率 W/ (m ² K)																																																																																										
仕様番号	部 分 名	一般部	熱橋部																																																																																							
壁①	熱橋面積比	0.83	0.17																																																																																							
(充填) +付加断熱: 横下地	熱伝導率λ W/(m・K)	厚さd m	d/λ m ² ・K/W																																																																																							
熱伝達抵抗 Ri	—	—	0.11	0.11																																																																																						
せっこうボード ※ (他の空層と連続している空層)	—	—	—	—																																																																																						
木材(柱・間柱)	0.120	0.083	—	0.692																																																																																						
??フォームNEO (HFO発泡)	0.021	0.083	3.952	—																																																																																						
透湿防水シート	0.000	—	—	—																																																																																						
付加断熱	下地材などが断熱材を貫通する 0.9																																																																																									
ネオマフォーム	0.020	0.060	2.700	2.700																																																																																						
通気層/外装材	—	—	—	—																																																																																						
熱伝達抵抗 Ro	—	—	0.11	0.11																																																																																						
熱貫流抵抗 ΣR=Σ(d_i/λ_i)	—		6.872	3.612																																																																																						
熱貫流率 U_n=1/ΣR	—		0.146	0.277																																																																																						
平均熱貫流率 U_i=Σ(a_i n_i・U_n)	—		0.168																																																																																							
9	二	2023/8/23	<p>BEST-Hを使用すると、PCが固まってしまいます。BEST-Hが固まる時の例は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室用途の編集後、確定ボタンを押した後 ・部材の編集集中や編集後保存ボタンを押した後 <p>等、の動作のあと、操作困難になります。また、物件管理から物件を検索する際もやや時間がかかります。現時点では以上の不具合が生じています</p> <p>固まってしまうときのBESTのファイルを添付いたします。恐れ入りますが、原因と対応方法をお知らせください。</p> <p>○ご使用中のプログラムに関するお問い合わせ >></p> <p>《ご使用環境》 ご使用のOS =windows ご使用のOSバージョン = windows10 Education BESTの種類 = BEST-H BESTのバージョン = BEST-H_v.1.1.7_ac</p> <p>-----回答後のご返信)----- 迅速なご対応を頂きありがとうございます。 モジュール設定を変更し、使用を試み、それでも不具合があるようでしたらまた、ご連絡させていただきます。 お忙しい中、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。</p>	2023/8/24	<p>建物情報画面のモジュール設定の入力が0.1mとなっているため動作が重くなっているようです。 モジュール設定を少し大きめにしながら、ご使用のPCで動作する値を設定してください。</p>																																																																																					
10	二	2023/8/31	<p>[BEST-Hの操作について] 現在、卒業研究で使用しているBEST-Hについて伺いたいことがあるためこちらのメールを送らせていただきました。</p> <p>BEST-Hで電気を使用した給湯熱源の電力を出力しExcelに落としたいのですが、給湯熱源の負荷も出力してExcelに落としたいです。その負荷を出力する方法がわからないためお問い合わせさせていただきました。</p> <p>お忙しい中恐縮ですが、よろしくお願い致します。</p> <p>---(回答後のご返信)--- 返信遅くなり申し訳ありません。 ご回答いただいた件承知いたしました。</p>	2023/9/1	<p>BEST-Hは、給湯熱源の負荷を出力する機能は御座いません。確認するための方法としては、「ガス従来型給湯機」に変更して加熱能力と燃料消費量を入力し(同じ数値とする)、計算結果として算出された燃料消費量を加熱量(負荷)として見る方法があるかと思えます。</p>																																																																																					

BEST-Hお問い合わせリスト(23/4/1~24/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
11	1.1.0	2023/10/13	<p>BEST-H(住宅版)のエラー・起動方法に関して質問です。</p> <p>解析後に「システムエラーが発生しました」というメッセージが表示されました。再度BEST-Hを起動し直したところ、「BEST 住宅版」の画面が表示された後にアプリが閉じてしまいます。</p> <p>PCの再起動やストレージの空き容量を増やすなどの対応を行いました。改善されないため、BEST-Hの再インストールを行うべきでしょうか。解決方法についてご教示いただけますと幸いです。</p> <p>以下に基本情報を記載させていただきます。お忙しいところ恐れ入りますが、何卒よろしくお願い申し上げます。</p> <p>《使用環境》 ご使用のOS =Windows 11 Home ご使用のOSバージョン =22H2 BESTの種類 =BEST-H(住宅版) BESTのバージョン =ver 1.1.10</p>	2023/10/16	インストールフォルダ内のlogフォルダにあるエラーログを送付してください。
12	二	2023/11/13	<p>現在、アカデミックユーザーとしてBEST-H(住宅版)を利用しています。マニュアルに標準年拡張アメダス気象データ(2010年度版)を使用しているとありますが、現時点で最新の2020年度版アメダス気象データの利用は可能でしょうか。</p> <p>お忙しい中恐縮ですがよろしくお願い致します。</p>	2023/11/14	<p>現在リリースされておりますバージョン(BEST-H(住宅環境・健康評価ツール)_v.1.0.0、BEST-H(住宅環境設計ツール)_v.1.1.10)では、拡張アメダス2010年版が利用可能です。</p> <p>次回リリースバージョンにて、2020年版拡張アメダス気象データの利用が可能となります。</p>
13	二	2023/11/14	<p>現在授業にてbest-hを使用しておりますが、一人の生徒の端末でそれまで計算できていたプロジェクトにおいて添付の画像のような計算エラーが表示されるようになってしまいました。</p> <p>どのように対応したらよいのか、ご教示いただけますと幸いです。</p> <p>お忙しいところ恐れ入りますが ご確認のほど、よろしくお願い致します。</p> 	2023/11/15	こちらで内容確認致しますので、計算エラーが生じる物件データ(O.O.best)と、ログファイル(BestLogging0.log)を送付ください。
14	BEST-H (住宅環境・健康評価ツール) v.1.0.0、 BEST-H (住宅環境設計ツール) v.1.1.10	2023/11/30	<p>お尋ねしたい点が2点ありましたのでご回答お願いできるでしょうか。</p> <p>(1)現在、アカデミックユーザーとして(BEST-H(住宅環境・健康評価ツール)_v.1.0.0、BEST-H(住宅環境設計ツール)_v.1.1.10)を利用しています。</p> <p>標準年拡張アメダス気象データ(2010年度版)の購入を考えています。データ形式がweaとwea2の2つがあり、どちらを購入すると利用できるでしょうか。</p> <p>(2)2020年度版拡張アメダス気象データが使えるバージョンは何月ごろにリリースされる予定ですか。</p> <p>お忙しい中恐縮ですがよろしくお願い致します。</p>	2023/11/30	<p>(1)今後リリースするバージョンよりwea2に対応致しますので、そちらをご購入いただければと思います。</p> <p>(2)今年中にはリリースする予定です。</p>

BEST-Hお問い合わせリスト(23/4/1~24/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
15	BEST-H(住宅環境設計ツール)v.1.1.11	2024/1/9	<p>お尋ねしたい点がありましたのでご回答お願いできるでしょうか。</p> <p>ご使用のOS = Windows 10 ご使用のOSバージョン = Javaのバージョン = BESTの種類 = BEST-H(住宅版) BESTのバージョン = BEST-H_v.1.1.11_ac その他 = お問い合わせ内容 = BEST-Hの結果から、エネルギー時系列グラフを選択し、表示期間指定を8/1~8/5に設定、表示の更新、csv出力を押し、ファイルを選択すると、メッセージでシステムエラーが発生しました。とポップアップされ、csvファイルが出力されません。 このエラーの解決方法、バグの修正をお願いしたいです。 表示の更新を押すと、電力のグラフが表示され、カーソルを合わせると、使用電力量が数値としてわかります。 室内環境の温度のcsvは出力できます。 以前のバージョンBEST-H_v.1.1.10_acでは、エネルギー時系列グラフも問題なく出力されていました。 お忙しいところ恐縮ですが、ご回答をお待ちしております。</p>	2024/1/10	ご連絡ありがとうございます、不具合を確認致しました。こちらの修正版を今月中にはリリースいたしますので、暫くお待ちください。